

一心太助の天秤棒 ～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担いで売り歩く～

越谷市議員 白川 ひでつぐ

シリーズ/NO 130号



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来6期20年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝の駅立ちは、通算4000日を超えました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前の様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

YouTubeの白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は255名を超えました。引き続き配信を継続していますので、これまでのご協力に感謝し、更にご登録をお願いします。

駅前駐輪場の一角にビル建設が始まった



今朝の駅立ちは、何時もの様に午前4時過ぎに起床して午前5時30分前には自宅を出発した。大袋駅西口に到着して街宣用具の搬出、設置を終えて午前6時前から市政レポートの配布を開始した。

辺りはまだ暗いため良く分からなかったが、目の前にある駐輪場の風景が何時ものとも違っていた。

それは大きなクレーン車に窓がついた木製の仕切り版の様なものを上から降ろしていた。これを数名の作業員の方が次々と柱に固定さ

れていた。

要するにプレハブの組み立て版を四隅から囲って全体のビルを建設している最中だった。へー、こんな簡便な手法で建物が建設されていく完成し、スピードも速いのだろうと、これは仮設住宅等にも利用されているかもしれないから等思い浮かべながら、通常通り午前8時30分過ぎに終了した。（12月5日・火曜日）

駅構内の改装が終わり、新装開店！

今朝の駅立ちは、越谷駅東口で午前5時30分過ぎには駅前清掃も終えて、午前6時前から市政レポートの配布を開始した。

ここ数か月駅構内はこれまで営業していた様々な店舗は閉鎖して、大掛かりな工事が続いていた。この中にはコンビニもあり駅利用者は不便だったかもしれない。

しかし、この日に全面改装が終わり、開店オープンの日となった。

市政レポートを配布終了時間の午前8時30分までにはまだオープンしている店舗はなかったが、開店セールでこの日は混雑が予想された。

どんな店舗や商品があるのか、この日以降楽しみではあるのだが。（12月7日・木曜日）



【駅前市民対話集会】とれたて配信！越谷市議会議員 #白川ひでつぐ 駅前対話集会

この日は、第32回の駅前市民対話集会をせんげん台駅東口前で開催した。対話の項目は以下の通りだったが、何時もの様に脱線状態で進化した。

- 1)、職員定数条例の改正
 - 2)、マイナンバーカード導入に係る個人番号の利用
- (裏へ)

- 3)、非課税世帯への生活支援給付金
- 4)、追加補正予算 3億8200万円
- 5)、自殺対策推進計画(令和5年度から令和10年度)
- 6)、越谷市再生資源の屋外保管に関する条例(案)に対するパブコメの状況
- 7)、イスラエル・ガザ戦争の即時停戦を求めることを表明するよう日本政府に求める意書案
ライブ中継の YouTube 動画

<https://www.youtube.com/watch?v=A8GkoJIUfvI>
(12月16日・土曜日)

12月越谷市議会最終日、職員定数の増員に賛成討論

今日は午前10時から越谷市議会12月定例会の最終日となり、私は市長提出議案「職員の定数を現在の3060人から3102人にする」議案に賛成討論と「マイナンバーカードへの健康保険証の紐づけに伴う市民個人情報の識別利用」条例制定の議案への反対討論の準備のため、徹夜状態で朝の駅立ちは中止した。「マイナンバーカードへの個人番号の利用に関する条例制定」は、令和6年12月までに現在市民全員が利用している健康保険証を廃止して、個人情報をマイナンバーカードに統合するための条例となっている。

そのため、以下の問題点から反対討論に立ったが、私と共産党以外の会派は賛成したため条例は可決された。以下が討論要旨。

問題点1 国が、越谷市を含む全国の市区町村と協議をせず、市区町村の業務である、健康保険業務の変更を迫るもの。

問題点2 地方自治の侵害であり「国民皆保険」制度の下、マイナンバーカードの取得を事実上強制するものあり、任意取得の原則に反するもの。

問題点3 マイナンバー(個人情報)という秘密情報が記載されたカードに、外部に示すための機能を統合するのは矛盾していること。

問題点4 健康保健法を改正することなく、療養担当規則という省令で、保険医療機関に対して、オンライン資格確認に応じること及びその体制の整備を義務付けるのは、法律の根拠を欠くものである。

それは憲法41条「国会は、国権の最高機関であって、国の唯一の立法機関である。」の規定に違反している。

次に職員定数の増員の議案は、所管の総務常任委員会で反対した議員の主張を十分踏まえた上で賛成討論を行った。反対したのは自民党、維新の会、無所属(1人)だったが可決された。以下はその要旨。

反対した議員が特に主張した人口減少時代、少子化の時代で人口が今後減り続けるにも拘わらず、職員だけが増員されていくのは時代の流れに逆行している、との指摘について。

確かに、今後日本をはじめ越谷市の人口はどんなに頑張っても減り続けることは避けられない事実。しかし「失われた30年」の結果、新たな貧困と格差が拡大した。更に「分断と不信」が社会にまん延しているのも事実。

例えば、実質賃金の長期にわたる低下や国民負担率(税負担と社会保障負担)の拡大、不登校児30万人、自殺者は2万人を超え、こどもの相対的貧困率は11.5%となり、非正規雇用は全体の4割に達している。

また、3年にも及ぶコロナ禍であきらかになった歴史的に証明されたエッセンシャル労働の低賃金と労働環境の悪化。

つまり、市民のいのちとくらしに於ける労働、地域、家族、社会のあり様が右肩上がりとは一変した。そこで、この市民の困窮と困難な状況に的確に対応するのが、自治の現場、地域であり行政の公的役割が大きく変化せざるを得ない。旧来の職員配置の基準を劇的に見直す必要性があり、深刻化、複雑化、長期化する様々な社会問題に対応する最前線の職員を適正に配置することが、今後強くもとめられていることから、人口減少時代だからこそむしろ有能な職員を増やしていかなければならない。

(12月20日・水曜日)

関東大震災では朝鮮人だけでなく、日本人も虐殺、その慰霊碑に手を合わせた

本年は関東大震災から、100年目にあたる。流言飛語によって多くの朝鮮人、中国人等が日本の軍隊や自警団によって虐殺された。

しかし、虐殺されたのは、東北や沖縄出身者や吃音等の日本人や被差別部落の人々だった。その中に千葉県野田市に香川県から菓の行商団が地元の自警団に襲われ、身重の女性や子供まで9人が惨殺された。これらの人々を慰霊している園福寺に出向き手を合わせて来た。歴史に向き合うことを常に忘れてはならない。

(12月29日・金曜日)